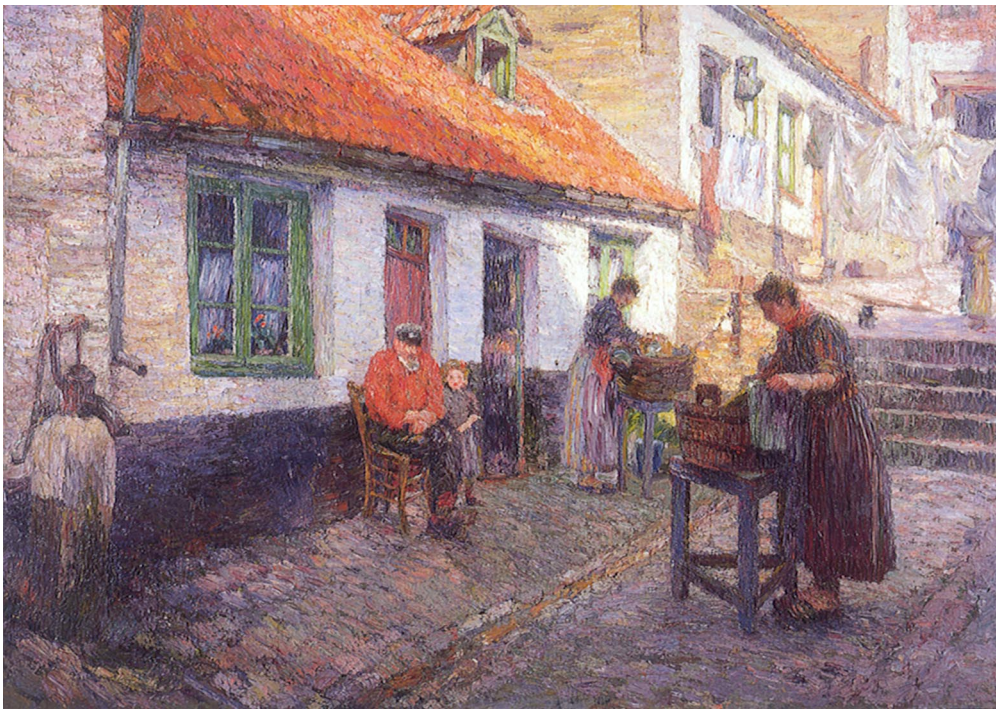


岡山県総合文化センターニュース

県内美術館所蔵作品紹介

成羽町美術館

『家族』 児島虎次郎 作



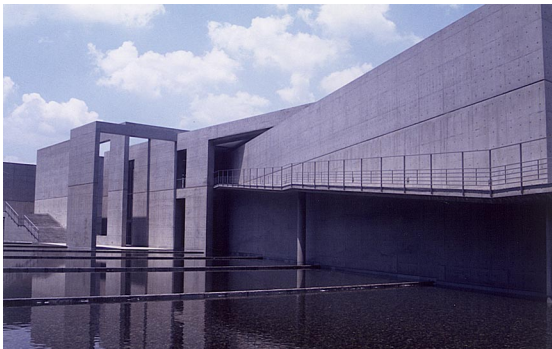
この作品は、児島がベルギーのアントワープ美術アカデミーに留学中に取り組んだ約100号（114×162cm）の大作で、児島にとっては初めての大作であった。

制作に際し、「たとえ失敗してもよい。広い画布が狭く感じられるくらいの意気をもってや

らねば……」と日記に記している。

下町の川岸にあった古い長屋を描いたものであろうこの作品は、渡欧してからの勉強の成果を生かし、色彩と光のバランスや反射光の表現などに苦心し、制作にも1年を費やした力作である。
〔1910（明治43）年制作〕

成羽町美術館



〒716-0111 川上郡成羽町下原1068-3 TEL(0866)42-4455

成羽町美術館は、同町出身の洋画家児島虎次郎（1881 - 1929年）の業績を顕彰し、岡山県下で最初の町立美術館として昭和28年に開館。平成6年11月に鶴首山を借景とする現在の場所へ移転し、建築家安藤忠雄氏の設計による新しい建物となった。開館5周年記念として「没後70年児島虎次郎展（平成11年10月20日 - 平成12年1月10日）」を開催している。

交通 JR備中高梁駅下車
備北バスで成羽方面へ20分（成羽停留所）

一日こども図書館フェスティバル

日 時：平成11年 9月26日
場 所：哲多町民センター



毎年、岡山県読書推進運動協議会が行っている「一日こども図書館フェスティバル」は5年目を迎えました。

今年は、9月26日(日)に、哲多町民センターで開催され、快晴の中、約380名の参加者でにぎわいました。

フェスティバルでは、県総合文化センターの移動図書館車「きび号」を会場に駐車させ、本の貸出を行いました。いつもと違うかわいらしい顔の「きび号」に子どもたちもたくさん集まりました。

また、図書の貸出の際には、哲多町内の小学生12名が「一日図書館員」としてお手伝いをしてくれました。

公演の部では、順正短期大学児童文化部による人形劇の上演のほか、腹話術、紙芝居と読み聞かせのコーナーなど盛りだくさんの内容でした。普段あまり人形劇を見ることのない子どもたちは、人形が巧みに動く様子に目を輝かせ、「おおきなかぶ」で、人形たちがかぶを引き抜く場面では、「よいこらしょ」と一緒になって掛け声を掛けていました。読み聞かせコーナーでは、お話にじっと耳を傾けていました。来場した子どもたちはすっかり物語の世界に引き込

まれていたようです。また、大ホールのわくわく科学ランドのコーナーでは紙飛行機やフリスビーを作って飛ばしたり、エアホッケーをしたりして、科学の面白さを体験していました。その他にも、木のおもちゃ、木の絵本に触れて遊ぶコーナーもありました。特に人気があったのは、長い風船をひねって動物や花をつくるバルーンショーです。事務局員が作り方を覚えて実演したほか、作り方の載っている本を何冊か持って行き、それを見ながら子どもたちと一緒に作りました。子どもたちにも、本を見て何か作ることの楽しさが伝わったのではないかと思います。

どのコーナーも子どもたちでにぎわい、大盛況でした。

お昼には、参加した子どもたちに、町からカレーライスが振舞われました。子どもたちは、心もお腹もいっぱいになり、満足した表情でこのフェスティバルを楽しんでいました。

今回の「一日こども図書館フェスティバル」によって、一人でも多くの子どもが読書に興味を持ち、地域の読書環境整備につながればと期待しています。



山さん
(哲多町シンボルキャラクター)



おがやま人物往来 ⑤2

まん だいじょうかん 万代常閑

万代常閑の名は岡山よりも富山で有名で、富山では「越中売薬の祖」として知られる。富山市梅沢町の日蓮宗日向山妙国寺では万代家から



万代常閑像 妙国寺

分骨された常閑の遺骨をまつり、毎年売薬商人が帰郷する6月5日に報恩祭を営んでいるという。万代家では代々「常閑」を襲名しているが、ここにいう常閑は万代家11代の常閑である。

万代家の「先祖書」(『和気郡史 資料編上巻』所収「万代家文書」)などによると、万代家は3代主計の時、応永年間(1394~1427)に備前国和気郡益原村(現和気町益原)に移り住み、常閑と改名、家名も「もず」から「まんだい」に改め、家伝の妙薬「延寿返魂丹」を以て医業を職とするようになったという。「返魂丹」は初代掃部助が唐人から秘法を伝授されたものと伝えられている。

返魂丹と富山との関わりは次のように語られている。常閑が長崎へ旅した時のこと、懇意になった富山藩士日比野小兵衛が腹痛で難儀した際、常閑が与えた返魂丹で腹痛がおさまった。小兵衛は常閑からその製法を学び自ら用いてい

たが、藩主前田正甫が腹痛で苦しんだ時、これが効いたことから、正甫はこれを藩内の薬種屋松井屋源右衛門に命じて製造、販売させることにした。その効き目は顕著で評判となり、正甫は松井屋源右衛門に命じて広く諸国へ売り広めるよう命じ、源右衛門の手代源兵衛が諸国へ販売することになった。これが越中売薬の始まりであるという。

岡山では、すでに江戸初期のころ、8代常閑は岡山藩主池田忠雄に招かれ、城で返魂丹を調合、その後も度々城に召されたという。元禄17年(1704)には11代常閑が藩主綱政から森下町に屋敷と「延寿返魂丹」の大看板を下賜され、のちには10人扶持を与えられて郡医者を仰せ付けられている。

返魂丹は岡山領内では「大庄屋廻し」とよばれる独特の方法で販売された。それは、返魂丹一粒を銭40文とし、大庄屋組ごとに100粒ずつを預け、年々その代金を徴収するという、藩の支配機構を利用した置き薬方式であったが、郡代高木右門の時(19世紀初頭)大庄屋廻しが廃止されると、以後販売は思うにまかせなかったと考えられる。これに対し、富山藩では明和2年(1765)「反魂丹役所」が設置され、販路を拡大していった。江戸末期、例えば津山藩領内で富山の売薬が8株の薬種屋に許可されて販売されている。

当館で閲覧できる関係図書には、『反魂丹売薬の起源と萬代常閑』や『富山売薬業史史料集』などがある。

当館の参考図書 ⑩6

環境問題記事索引 1988 - 1997

(日外アソシエーツ 1999)

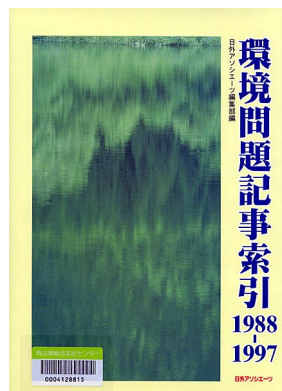
環境問題に関する雑誌記事索引。1988年から1997年の間に日本国内で刊行された134誌の関連記事12,335点を収録している。

文献の主題別に分類された「見出し一覧」、各記事のテーマに含まれる用語・人名・地名・法名などの「事項名索引」、各文献の著者・编者・訳者・対談者などの「著者名索引」があり、様々な角度から記事を探ることができる。

主題は地球温暖化、酸性雨、開発問題、交通

問題、エネルギー問題、軍事・戦争問題、ゴミ問題、絶滅危惧種、世界遺産、法制・条約、健康問題など多岐に渡る。

例えば原発事故についての記事を調査する場合、



「事項名索引」の事故から【チェルノブイリ原発事故】、【美浜原発事故】、【動燃・東海事業所/人形峠事業所】、【高速増殖炉もんじゅ】などの記事が掲載されている誌名・巻号・掲載ページなどを知ることができる。

新着郷土資料紹介

岡山情報ハイウェイQ & A そこが知りたい
岡山県企画振興部刊 1999 58頁

備中国久世代官早川八郎左衛門御触書留帳
成羽古文書研究会編 成羽古文書研究会刊
1999 81頁

近世の生活文化史 地域の諸問題 定兼学著
清文堂出版刊 1999 524頁

岡山の記憶 1999年 岡山・十五年戦争資料
センター刊 1999 82頁

自由になったみえちゃん 堀道子著 堀道子
刊 1999 39頁

宇垣一成とその時代 大正・昭和前期の軍
部・政党・官僚 堀真清編著 新評論刊 1999
440頁

遠足だあ！！ 井笠路遠足ガイド 岡山県井
笠地方振興局刊 1999 77頁

創造のちから 「不思議な企業」林原の発想

牧野昇著 エイチアンドアイ刊 1999 269頁
岡山県の保育所五十年 岡山県保育協議会編
西日本法規出版刊 1999 284頁

親が変われば子が変わる がんばれ！PTA
森学著 吉備人出版刊 1999 210頁

制服・学校・子どもの権利 服装の自由化を
求めた親と子どもの7年 岡山の制服を考える
会著 吉備人出版刊 1999 227頁

岡山大学50年小史 岡山大学刊 1999 505頁

高梁市宇治の民話 立石憲利著 立石憲利刊
1999 118頁

備中の水車風土記 回れ、時を超えて！ 鳥
越昌，中野勇著 山陽新聞社刊 1999 139頁

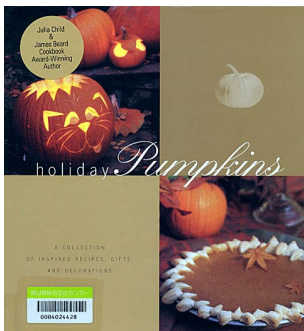
巧匠 平櫛田中（岡山文庫） 原田純彦著
日本文教出版刊 1999 157頁

やなはらの文化 総集編 柵原町文化協会刊
1999 315頁

斎藤真一の世界 さすらいの画家（岡山文
庫） 斎藤裕重，イシイ省三編 日本文教出版
刊 1999 157頁

外国語資料紹介

Holiday pumpkins : A collection of inspired recipes, gifts, and decorations. (by Georgeanne Brennan / photography by Penina / Smithmark Publishers / 1998)

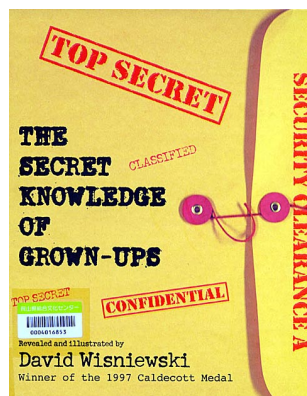


赤や黄色の枯葉が舞い始める10月の終わり頃、アメリカの子どもたちが毎年楽しみにしているハロウィーンがやってくる。お化けや幽霊がいっぱいの夜、お菓子をもらいに出かけ

たり、かぼちゃで jack o'lantern を作ったり。そう言えばあれってどうやって作るんだっけ、という人のための本である。

The secret knowledge of grown-ups (by David Wisniewski / Lothrop, Lee & Shepard Books / 1998)

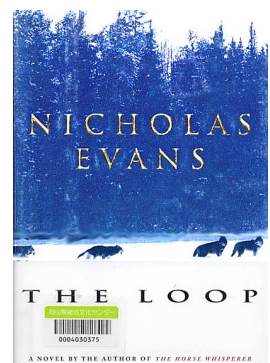
カルデコット賞受賞者 Wisniewski が、数千年もの間、大人たちが子どもた



ちに隠してきた様々な「極秘」事項を、面白おかしく暴き出している。なぜ、大人たちは子供に、「野菜を食べなさい。」「ミルクをたくさん飲みなさい。」「髪をときなさい。」「食べ物で遊んではいけない。」「ベッドの上で飛び跳ねてはいけない。」などと口うるさく言うのか、この1冊を読めば、それらの疑問も氷解することであろう。

The loop (by Nicholas Evans / Delacorte Press / 1998)

突然、どう猛なオオカミの群が、モンタナ州のホープというロッキー山脈のふもとの牧場町に戻ってきた。100年前の大量虐殺により、絶滅に瀕した種として法律で保護されてきたオオカミたちは、人間への憎しみに再び目覚めたのだ。



オオカミの生態学者で、オオカミを守ろうとひとりで奮闘する若きヘレン・ロスを中心に、ストーリーは展開していく。彼女は、残忍でカリスマ的な牧場主であり、かつ、オオカミ保護への強硬反対派の息子でもあるバック・カルダーへの思いにも揺れ動いていくのである。

The loop では、アメリカ西部の雄大な自然を背景に、愛、家族、そして人間と自然界の関わりについて、切々と語られている。

随想

21世紀は、岡山の時代

山口 茂嘉（岡山大学教授）



「21世紀は、岡山の時代である」などと主張すると、一番、信じて下さらないのが岡山生まれの方々である。

では、なぜ「岡山の時代」なのかを以下、理由をあげながら書いてみたい。

大地が安定している。

神戸やトルコの地震から分かるように、われわれの生活で大地が安定していることが、まず第一の条件である。県南には、活断層が少なく、今後も大きな地震が起こるとは考えられない。

水が豊かである。

「水は、近代化の血液である」とも言われる。水洗トイレや工場の冷却水のことを考えても、生活が近代化すればする程、大量の水を必要とするのである。この点についても、岡山には、吉井川、旭川、高梁川の3本の川があり、水には恵まれている。

天气が良い。

「晴れの国、岡山」とのキャッチフレーズがあるように、岡山で雨が降るのは、年平均82日である。週休2日制が定着してきており、1日は休養に当てても、次の日はどこかに出かけたくなる。そんな時、晴れていると野外活動も可能になる。これは、どんなにお金を出しても買えない貴重な岡山の財産である。

海や山のものが豊か。

今まで述べてきたこととも関係するが、水が

豊かで、天气が良ければ、当然、海や山のものが豊かで味もおいしいのである。食べものが豊富であることは、人々が安心して生きていくための基本条件である。

古い歴史がある。

岡山には、縄文時代からの古い歴史がある。吉備文化は、大和や出雲と対等の文化圏を持っており、古墳の大きさや多さから、岡山が古代からいかに住み心地の良い土地であったかが分かる。

交通の便が良い。

新幹線や自動車道の整備で、岡山は交通のクロッシングポイントになった。2時間圏の交通マップを描くと、名古屋から福岡の範囲が完全にカバーできる。この範囲にどれだけの人々が住んでいるかを推定すると、約4000万人である。ということは、岡山を中心にして4000万人の商圏が成り立つということである。

開発できる広い土地がある。

飛行機で、岡山の上を飛ぶと、どこまでも平野が広がっているのが分かる。大都市で、こんなに郊外にゆとりのある所は、他にはないのである。

以上、7つの理由を述べてきたが、この他にも台風等の被害が少ないなどもあげられると思う。

これだけ恵まれた条件がそろっている岡山をいかにすばらしく演出するかは、われわれ一人一人の生き方にかかわっている。そして、岡山からの素晴らしい情報の発信を日本のみならず世界の人々にしていきたいものである。

平成11年度

第3回「世界お話の旅」

ニュージーランド編

ニュージーランドの絵本を読み、
ゲームと歌で遊ぼう！

小・中学生、幼稚園児、みんな集まろう！

- 日時 平成11年11月27日(土)14:00～15:30
- 会場 岡山県総合文化センター
第一会議室(3階)
- 講師 アナ・フォリー(倉敷市雇用ALT)

入場無料・申し込み不要。

詳細は(086)224-1286(国際資料係)へ。

お知らせ

「現代作家の眼」

アートウェーブ岡山・巡回展

- 広がる版画の世界 -

県内の美術家14人による「版画」あるいは「版」を使った作品約50点を展示。入場無料。

- 会期 平成11年11月10日(水)～11月18日(木)
- 会場 備前市市民センター
- 主催 「現代作家の眼」展実行委員会ほか。

(備前会場終了後、勝央町郷土美術館と高梁市歴史美術館に巡回して開催します)

平成11・(12)年

12・1月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー（開場時間 9：00～17：00）

期間 (週)	第 1 展 示 室		第 2 展 示 室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
11/30～ 12/5	第8回墨成書道会展 書100点 墨成書道会 入場無料	グループ90染色・水墨画・日本画展 染色5点 水墨画9点 日本画11点 グループ90 入場無料	日本画・水墨画静流会展 日本画・水墨画85点 日本画・水墨画静流会 入場無料	新紀会展 油絵30点 新紀会 入場無料
12/7～ 12/12	岡山市文化連盟連合展 油絵、水彩画、水墨画、書道、陶芸、木彫、その他計240点 岡山市文化連盟連合会 入場無料		第17回ODA展 平面45点、立体8点 岡山デザイン協会(ODA) 入場無料	創彩展 油絵30点 創彩会 入場無料
12/14～ 12/19	125今から未来へ・岡山県立岡山朝日高等学校創立125周年記念美術展 絵画、彫刻、書道、写真、工芸等 岡山朝日高校125周年記念事業委員会 入場無料		第12回水墨画虎杖会展 水墨画80点 水墨画虎杖会 入場無料	西部謙慎書道展(巡回展) 書道90点 西部謙慎書道会 入場無料
12/21～ 12/26	第18回操風展 油絵80点 操風会 入場無料	第24回金光ゆうざきフォト集団写真展 写真120点 金光ゆうざきフォト集団 入場無料	第30回記念莞歌社岡山支部書道展 書約90点 莞歌社 入場無料	第5回いきるかたち展 立体造形 彫塑 油絵 版画計100点 いきるかたち展実行委員会 入場無料
1/5～ 1/9	第11回日中友好書道展 書約70点 岡山県日中友好書道協会 入場無料	国画会岡山作家展 油絵18点 彫刻2点 工芸4点 国画会岡山グループ 入場無料	第30回ギャルド・ファイブ展 油絵、インスタレーション35点 ギャルド・ファイブ 入場無料	
1/11～ 1/16	黄土舎展 油絵35点 黄土舎 入場料500円 会員200円	岡山水彩作家展 水彩画30点 岡山水彩作家会 入場無料	第6回女子美術展 美術全般70点 女子美術大学同窓会岡山支部 入場無料	第5回ニコールクラブ岡山支部展 写真100点 ニコールクラブ岡山支部 入場無料
1/18～ 1/23	第32回春秋書道展 書道(主として漢字・古典)122点 春秋会 入場無料	第4回工友美術展 絵画 彫刻 立体造形他110点 工友美術会 入場無料	第37回県下高校書道教師による書道展 書40点 高教研書道部会 入場無料	彩雲会書道展 書道(漢字 詩文 少字)100点 彩雲会 入場無料
1/25～ 1/30	第17回岡山県近代詩文書作家協会「岡山県現代俳句の書展」 書180点 岡山県近代詩文書作家協会 入場無料		第16回岡山県工業高校デザイン展 デザイン(岡山工業デザイン科 高粱高校デザイン科・インテリア科 東岡山工高設備システム科)100点 岡山県高等学校工業教育協会デザイン部会 入場無料	

ホール（固定席282席）

日曜)	催 物	時 間	料 金	主 催 者
12/1(水)	文化センターホール使用抽選会	9：00～12：00		岡山県総合文化センター総務課
12/3(金)	狂言公演「田賀屋夙生師範十周年記念狂言会」	18：00～20：00	3,500円	田賀屋狂言会
12/4(土)	合 唱	14：00～16：30	500円	就実大学・短期大学グリークラブ
12/5(日)	ピ ア ノ 発 表 会	13：00～16：00	無 料	山 崎 音 楽 教 室
12/11(土) 12/12(日)	第307回文化センター土曜劇場 ノートルダム清心女子大学 日本語演劇部公演 「赤い階段の家」	17：00～19：00 13：30～15：30	前：400円 当：500円 65歳以上、小学生 以下、会員無料	岡山県総合文化センター
12/18(土)	ロ ッ ク 研 ラ イ ブ	未定	無 料	ロ ッ ク 研 究 会
12/25(土) 12/26(日)	演 劇 上 演	13：00～18：00 13：00～18：00	無 料	関西高校・桑田中学校演劇部
1/8(土) 1/9(日)	英 語 演 劇 「Matchmaking for Mother」	14：00～	無 料	岡 山 大 学 E . S . S
1/16(日)	岡 山 大 人 形 劇 大 会	10：00～12：00 13：00～15：00	大人 300円 小人 100円	プ ー プ ー ピ ー
1/22(土) 1/23(日)	第308回文化センター土曜劇場 古市福子プロデュース グループ公演 「こいぶみたち」	14：00～16：00 18：30～20：30 14：30～16：30	前大1500・学1000円 当大1800・学1100円 65歳以上 障害 者 会員無料	岡山県総合文化センター

抽選会は、12/1(4～6月)・3/1(7～9月)・6/1(10～12月)・9/1(1～3月)です。
ただし、使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。
会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。